

令和2年度第3回小田原市みどりの審議会（書面会議） 議事録

1 日 時 令和3年1月12日（火）から令和3年2月15日（月）

2 内容

審議事項

(1) 小田原市緑の基本計画改訂増補版（案）について（審議）

報告事項

(1) 小田原市こどもの森公園わんぱくらんどにおける公園施設の一部廃止について

(2) 久野霊園合葬式墓地の進捗状況について

(3) 小田原フラワーガーデン指定管理者の指定について

(4) その他

3 出席委員 椰野会長、土屋副会長、相原委員、西村委員、奥津委員

4 議事の概要

審議事項

(1) 小田原市緑の基本計画改訂増補版（案）について（審議）

質疑応答

委員 : 小田原市緑の基本計画改訂増補版（案）については、特に意見等はない。増補版も含め、小田原市緑の基本計画は、総合的な緑に関する計画として、優れたものとなっている。また、全庁的に緑に関する取組、その執行管理も評価する。

今後、本計画をどのように市民に対して、情報発信していくのか。

事務局 : 小田原市緑の基本計画については、小田原市ホームページや広報などを活用し、情報発信していく。

委員 : 当初の計画は、策定後に国交省に報告しており、参考までに増補版確定後、郵送するかなど、椰野会長と相談していただきたい。

事務局 : 椰野会長と調整し、対応する。

委員 : 計画の1-2 改訂の基本方針 本文最終行に記載している「小田原市みどりの審議会」に諮り了承を得て決定しました。」とあるが、審議会は決定機関ではないので、「小田原市みどりの審議会」に諮り了承を得て、市として決定しました。」に修正した方が良いと思う。

事務局 : 土屋副会長の文案のとおり修正をする。

委員 : 前回審議会にて多くの時間を要した「グリーンインフラ」に関する考え方が織り込まれたことは、評価する。とりわけ、5-2 グリーンインフラの動向 (2) 小田原市におけるグリーンインフラの検討は、一歩前進した記載であり、事務局を評価する。前回の審議会の時に質問をしたが、環境変化の中で大きなテーマである新型コロナウイルス感染症をいかに記載

するか。計画の第6章の実績報告にも、新型コロナウイルス感染症によるイベント等の中止が散見されますので、何かしらの記載が必要かと思う。私見としては、1-1 改訂の理由に項目として追記。5 「グリーンインフラ」に関する記述の追加に、with コロナ・アフターコロナ時代における市住民生活の質向上（QOL）として、公園や街路樹などグリーンインフラの価値再認識にかけ合わせての記載をした方が良いかと思う。

事務局 : 緑の基本計画改訂増補版の「はじめに」の項目に、社会背景として新型コロナウイルス感染症に関する内容及び、新生活様式への対応について追記いたします。

委員 : 次の5年に向けた課題、事業内容変更一覧など、全体的に丁寧にまとめられていた。書面の中で差別化した文章（バックがグレーに文字）が読みにくかった。他のカラーで確認してもよいのかもしれない。

事務局 : 何種類かの色を検討し、見やすいように修正する。

委員 : 意見なし。

報告事項

(1) 小田原市こどもの森公園わんぱくらんどにおける公園施設の一部廃止について (報告)

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

委員 : 廃止理由が動物飼育員の確保と運営経費上昇等とあるが、利用実績に利用者数と収入金額はあるが、費用面での増加状況と個別収支はどのようになっているのか。

事務局 : 「ポニー乗馬及び動物飼育等」の業務においては、これまで年間約2,000万円の経費で運営していましたが、今後、本業務を継続していくには、人件費の上昇等の理由により、約3,000万円程度の経費が見込まれています。個別の収入について、ポニー乗馬は1回300円の有料施設として運営しており、年間約450万円の収入があります。動物飼育等は、無料施設のため収入はありません。

委員 : 利用状況をみると年間14,000人程度の固定客層があるように見受けられる。飼育員の確保等難しい問題があるが、利用者からの声などはないのか。

事務局 : 令和2年12月22日から令和3年1月20日まで、パブリックコメントを実施いたしました。その結果1名からご意見をいただき、意見の内容は、休止状態を継続させ、再開できるようにしておくことや、廃止の理由などでありました。また、小田原こどもの森公園わんぱくらんどでは、定期的に公園の利用者アンケート調査を実施しております。令和2年度は、4月

以降同業務を休止しており、休止期間中の8月から11月にかけてアンケートを実施した結果、562件のご回答をいただき、「乗馬ができなくて残念」というご意見が3件ありました。

委員 : 業務の廃止に伴い、小田原市議会3月定例会に提出し、今後の対応をお願いする。

委員 : 意見なし。

(2) 久野霊園合葬式墓地の進捗状況について (報告)

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

委員 : 造成工事について、令和3年度施工予定の図面を見ましたが、細かすぎてよくわからない。前回の審議会で申し上げたバリアフリー（高齢者、障害者にやさしい）設計は可能でしょうか？造成工事はこれからですので、検討願う。

事務局 : バリアフリーに配慮した造成計画の見直しを検討します。

委員 : 意見なし。

(3) 小田原フラワーガーデン指定管理者の指定について (報告)

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

委員 : 小田原市都市公園指定候補者選定委員会において、審査、協議を行い、指定管理者が決定したことは了解した。小田原から手を挙げる企業がほしい。

事務局 : 新たな小田原フラワーガーデンの指定管理者は、横浜緑地(株)、伊豆箱根鉄道(株)、(株)加藤造園の共同事業体(小田原フラワーガーデンパートナーズ)となっており、(株)加藤造園は小田原市内の企業である。

委員 : 意見なし。

(5) その他

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

委員 : 小田原市が“世界が憧れる市”になるためにも、グリーンインフラを積極的に取り入れ(小田原市はすでに多くのものを有し、実行している。)、日本における先行事例として全面に押し出し、活用をアピールしてもらいたい。第7章「地域別計画」の各地の進捗状況「みどりの状況」など全てグ

リーンインフラとして記載されることを望む。

事務局 : 本市においても、様々な地域課題を解決するための一つ的手段として、グリーンインフラに関する取組を進めていくことは重要であると考えている。今後は、国の動向や先進事例等にも注視し、市としての考え方や具体的な事業についての検討を行っていく予定である。

委員 : 意見なし。

委員 : 意見なし。

以上